

留学してからあつという間に5か月近く経ちました。7月は寒い日が続き、また雨も多く降りました。こちらの季節は日本とは真反対で、夏に乾燥し、冬に湿気るので、実際の気温よりも寒く感じます。

今月は、学校で大学に関する講義や説明を聞く機会が多くありました。leap という授業の時間に何校かの大学から人がきて、私たちに向けてその学校のキャンパスや、大学の強み、それぞれの学部についての説明など、大学についての基本的な情報の説明をしてもらいます。私は勝手に、オーストラリアの方々は将来について明確なアイデアを持っている、独立していて、それに向かって真っすぐ進んでいると決めつけて、勝手なイメージを持っていました。もちろん、そういう子はたくさんいましたし、多くの学生が積極的に質問していました。私は大学進学や行きたい学部について考えはありますが、いまだに疑問を持っていたり、これでいいのかと悩んだりもします。物怖じせず質問している生徒たちを見て、すごいなと感心しましたが、後々何人かの友達に大学や自分の進路について聞いてみたら、中にはまだはっきり決めていない子もいたり、決めてはいるけどまだまだ模索中だったり、逆に詳しく将来の自分のなりたい姿をきめていたり、それぞれの子が、それぞれ悩みながらも前に進むようとしているのが分かりました。それは育った国や環境関係なく、高校生共通のものなのかと感じました。そして、実際にある大学のオープンデーに行きました。セッションが4つあり、それぞれのセッションに異なる学部の説明があり、自分の興味ある学部の説明を聞きに行く、というシステムでした。犯罪学や、イベントについての演出や企画についての学部、観光学部など、私があまり聞いたことのないような学部も多くあり、とても興味深かったです。大学のオープンデーに学校の行事の一環で行けたのは、将来の進学についての漠然な不安や、迷いを解決できるための一歩を踏み出すきっかけになるのではないかなと思いました。私は、まだ自分の将来について自信を持てなかったり、迷いもありますが、留学をしたことで、将来の視野や、選択肢、考え方が変わったように感じます。留学という大きな選択をしたことや、このような機会をつかませてくれた人に、より一層感謝すべきだと思いました。

白鷗高校 15 期生 次世代リーダー育成道場第 11 期生 N.F

